

リ・ピースの取り組み発表を 行いました

先日、リ・ピースの取り組みを発表するため、平成30年度「和歌山県青少年育成指導者関係研修会」に出席しました。

県下から集まった約90名の大人に向け、リ・ピースの歴史や昨年度の活動報告について、パワーポイントを使って説明しました。
[リ・ピースとは・・・平成14年に発足した読み語りサークルです。学童や保育所を訪れ、読み語り活動をしています。]



その後、日頃子供に向けて実際に行っている読み語りの実演を行いました。

大型絵本 「おかあさん だいすきだよ」(みやにしたつや著・イラスト)

紙芝居 「おおきなおとしもの」(H.C アンデルセン原作・レイ クルツ絵・やぎたよしこ脚本)

ストーリーテリング「熊野の民話 ～岩田に伝わる河童の話～」



発表を担当したのは看護科3年中井美佑さん、中石七望さんの二人です。

発表の後の分科会で質疑応答の時間がありました。「入ろうと思ったきっかけ」「読み語りを行う際のポイント」「周囲に対しての働きかけについて」など様々な質問を受けました。

(参加生徒の感想 一部)

■今回、90人という大勢の大人たちの前で発表を行うことになり、不安もあったけれど、何とか成功させることができました。どれも真剣に私たちの発表を聞いてくださっていたので、頑張って資料を作って良かったと思いました。老人ホームなど、学童保育園だけでなく、もっと他の場所でもやった方が、もっと多くの方々に喜んでいただけるのではないかとアドバイスをいただきました。これからメンバーと、リ・ピースの活動の幅を広げていくための案を考えたいと思います。

■前日や当日に急きょ大型絵本やストーリーテリングを入れることになったことに加え、ストーリーテリングは大勢の前で発表するのが初めてだったので緊張しました。しかし周囲を見回したときにうなずきながら真剣に聞いてくれているのを見て緊張がほぐれ、落ち着いて発表することができました。その後の意見交換会では「ビースター」の中学生の返答がともしっかりしていたのですごいいいと思いました。たくさんの人が「良かった」と言ってくださったのがとても嬉しかったです。またこのような機会があれば参加したいと思います。

